

2300 遠隔計測監視システム シリーズ

■ 主な機能と特長

2300 遠隔計測監視システムを構成するモジュールベースで、電源・通信・計測モジュールを取り付ける

- ・本器を介して、電源モジュールから通信・計測モジュールに電源供給
- ・本器内のデータバス(CAN バス)を介して、通信・計 測モジュール間の通信を行う
- ・本器の CAN 端子をドロップ配線することにより、1 台 の通信モジュールで 63 台の計測モジュールを管理 することが可能
- ・必要なスロット幅に応じて3種類のモジュールベース から選択可能
- ・DIN レールへの接続が容易

■ 機器仕様

| 形名 | スロット幅 | 通信・計測モジュール接続用 |
|---------|-------|---------------|
| | * | スロット幅 |
| 2391-01 | 3 | 1 |
| 2391-02 | 8 | 6 |
| 2391-03 | 13 | 11 |

※モジュールベース毎に 2 スロット幅の電源モジュール(2361)の取り付けが必要

機能仕様

定格電源電圧:DC5V 最大供給電力:12W

※外部電源供給は 2391-01 のみ

耐電圧: AC0.5kV(フレームー内部バス間)

内部バス終端:CAN 終端スイッチにより、内部バス

を終端させる

CAN ケーブル延長: 100m 未満

■ 設置環境

| 使 用 場 所 | 室内 |
|---------|------------------|
| 使用温度範囲 | 0~50°C |
| 使用湿度範囲 | 80%rh 以下(結露なきこと) |
| 保存温度範囲 | −10~50°C |
| 保存湿度範囲 | 80%rh 以下(結露なきこと) |
| 使 用 高 度 | 2000m 以下 |
| 使用周囲雰囲気 | 腐食性ガス、ひどい塵埃のない |
| | こと |

■ 適合規格

安全性:EN61010-1、汚染度 2 EMC:EN61326 CLASS A

■ 付属品・オプション

付属品:壁面取付用金具

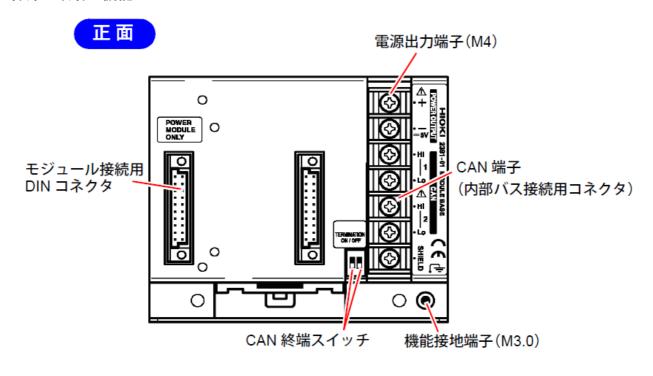
2391-01 及び 2391-02 1 個

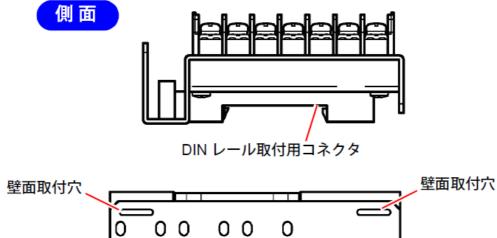
2391-03 2個

オプション:なし



■ 各部の名称と機能



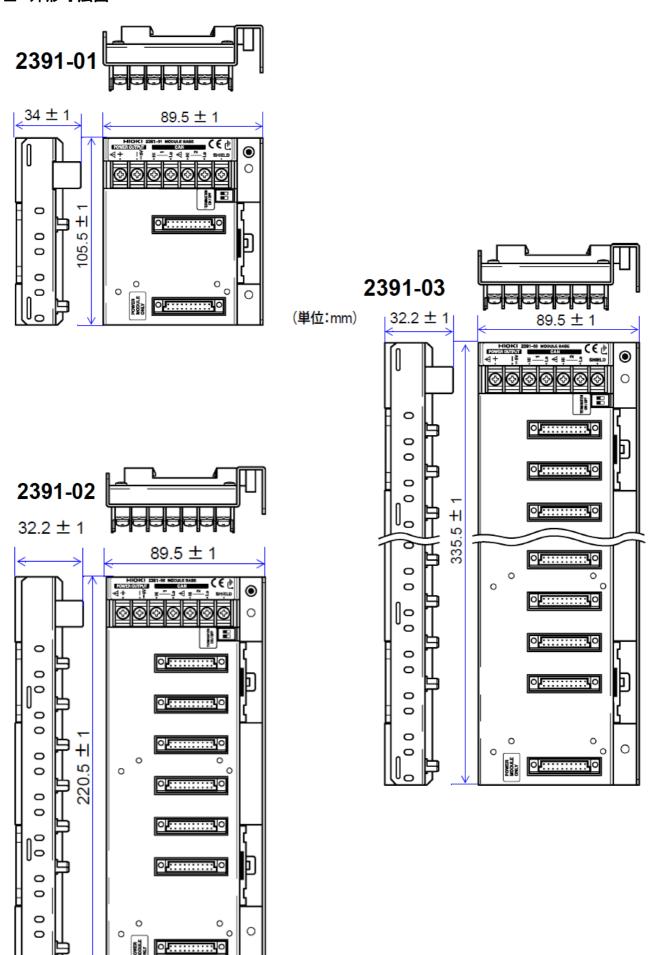


| 電源出力端子 | 外部機器へ電源を供給します。 |
|----------------------|--------------------------------------|
| CAN 端子 | 内部バスを延長するために使用します。 |
| (内部バス接続用コネクタ) | 端子1は通信モジュールに近いモジュールベース(上流側)に、端子2は |
| | 通信モジュールから遠いモジュールベース(下流側)に結線します。 |
| | CAN バス用の通信ケーブル(CAN ケーブル)を使用してください。 |
| | また、シールド線も必ず接続してください。 |
| CAN 終端スイッチ | CAN 端子を使用しない場合は、ON にしておきます。 |
| (TERMINATION ON/OFF) | 使用する場合は、該当する番号のスイッチを OFF にしてください。 |
| 機能接地端子 | 機能接地端子です。必ず接地してください。 |
| モジュール接続用 DIN コネクタ | 電源、通信、計測モジュールを接続するためのスロットです。 |
| | 左端から電源モジュール、通信モジュール、計測モジュールの順番で接続 |
| | します。 |
| DIN レール取付用コネクタ | 本器を DIN レール(35 mm 幅)に取り付けるためのコネクタです。 |
| 壁面取付穴 | 本器を壁面に取り付ける場合に使用します。 |

図は 2391-01



■ 外形寸法図





■ CAN ケーブル接続例

CAN ケーブルは ISO11898 規格対応のものをご使用ください。

・各 CAN 端子の Hi 同士、及び Lo 同士を接続します。

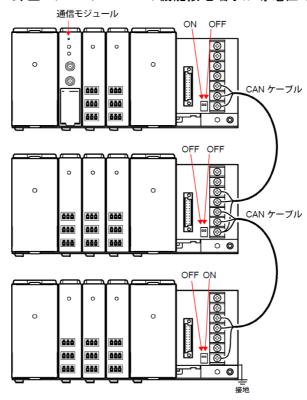
CAN 終端スイッチは両端のスイッチ(計2個)のみをONします。

結線及び終端処理終了後、HiーLo 間の抵抗値が約60Ωとなっていることを確認してください。

- ・CAN のシールド線は片側(一方の端)のみ接続します。
- ・各モジュールベースの機能接地端子間に電位差が生じないように注意してください。

(CAN 通信ができなくなる場合があります)

電位差が生じてしまう場合は、一つのモジュールベースのみ機能接地端子を接地します。そして全モジュールベースの SHIELD 端子を CAN ケーブルのシールド線で全て接続します。モジュールベースの機能接地端子と SHIELD 端子は導通しているので、全モジュールベースの機能接地端子が導電位で接地されたことになります。

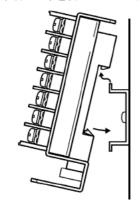


■ DIN レールへの接続

取り付け

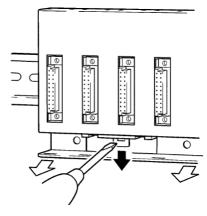
本器背面のDIN レール取付用コネクタを使用して、本器をDIN レール(35mm幅)に取り付けます。

DIN レール取付用コネクタの上側フックを DIN レール に引っ掛け、本器下部を押し込みます。



取り外し

コネクタ下側のオレンジ色のレバーをマイナスドライバーなどで引き下げながら、DIN レールから取り外します。

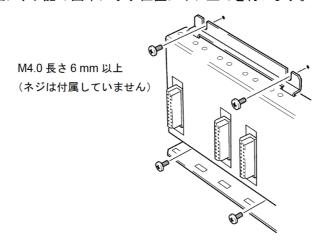




■ 壁面への取り付け

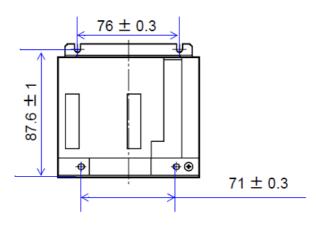
壁面取付穴を使用して壁面に取り付けます。

十分な強度がある壁面に、下記の図中に示す位置にネジ止めを行います。

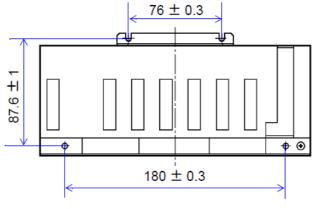


壁面取り付け穴の位置





2391-02



2391-03

